報告事項１．

2024年度　事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給，及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 石油化学部会

次世代の化学品製造技術の現状を調査するために「ハイスループット実験と記述子設計に基づくデータ駆動型触媒探索」について有識者からの情報収集を2025年1月16日(木)に実施した。

(2) 製品部会

1）ガソリン分科会では，第44回CFRオクタン価照合試験を行った。

2）アスファルト分科会では，アスファルト回収試験に用いる溶媒変更の検討を行った。

3）潤滑油分科会では，(株)ニッコークリエイトを2024年9月6日(金)に訪問し，ホットチューブ試験装置の情報収集・意見交換を行った。

4）絶縁油分科会では，以下の活動を行った。

a）電気絶縁油中のフルフラールの定量試験方法に関する照合試験を実施した。

b）絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。

c）大崎クールジェン(株)を2024年11月15日(金)に訪問し，「革新的低炭素石炭火力発電」についての情報収集・意見交換を行った。

5）試験分析分科会では，以下の活動を行った。

a）石油製品中のナトリウム分，カリウム分の分析にICP発光法を適用する検討を行った。

b）微量電量滴定法を用いた石油製品中の塩素分の分析法に関する照合試験を実施するための検討を行った。

c）京都電子工業(株)を2024年10月11日(金)に訪問し，「分析装置の自動化」および「分析装置の動向」についての情報収集・意見交換を行った。

(3) 装置部会 装置委員会

1）回転機分科会では，「低速機器用メカニカルシールユニットの封液自己循環装置」,「往復動圧縮機のモニタリングシステムについての紹介」および「電流情報量診断システムについてのご紹介について」情報収集・意見交換を行った。また，「設備診断」についての情報収集を実施した。

2）計装分科会では，2024年7月3日(水)に「高浜原子力研修センター」を訪問し情報収集・意見交換を行った。また，「機能安全の基本および海外の最新事例」について情報収集を行った。

3）電気分科会では，「診断技術とトラブル事例について」をテーマに，「変圧器突入電流抑制装置の紹介」について情報収集・意見交換を行った。

4）設備保全分科会では，「設備技術事例の紹介」についての情報収集・意見交換を行った。

(4) 経営情報部会

下記WGを設置して調査・検討を行った。WG1では，兼清 賢介 氏（元 日本石油(株)，（一財）日本エネルギー経済研究所 参与）及び矢嶋 隆司 氏（元 コスモ石油(株)，元 ジャパン石油開発(株)）のオーラルヒストリーをまとめ，ホームページに公開した。

WG1「石油・エネルギー産業史」

WG2「連続プロセスオペレーション自動化基盤技術の調査」

(5) 新エネルギー部会

1) あきた次世代エネルギーパークを2025年3月5日(火)に訪問し，「秋田市の次世代エネルギー活用事例」についての情報収集・意見交換を行った。

2) 次世代バイオ燃料分科会では，Green Earth Institute(株)を2024年10月24日(木)に訪問し，「バイオものづくり技術の社会実装」についての情報収集・意見交換を行った。また，「持続性認証とライフサイクル思考」について有識者からの情報収集を2025年1月21日(火)に実施した。

1-1-2 受託，参加事業

(一財)JCCP国際石油・ガス・持続可能エネルギー協力機関が実施する①産油・産ガス国事業環境整備事業のうち連携促進事業（テーマ別合同シンポジウム(研究・技術)事業），及び②産油・産ガス国高度人材育成支援事業のうち産油・産ガス国研究者交流事業に参加し，調査・研究を実施した。

1-2 成果公開・普及

前述の部会，委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努めることで，国民がこの分野に関心を持ち，石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること，本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

1-2-1 講演会等（移動大学，支部講演会，JPIJS講演会，部会講演会）

(1) 石油啓発教育（移動大学等）

多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため，大学生（院生を含む）や一般市民を対象として，移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施するとともにリレー講座を実施した。2024年度は，移動大学では25の大学・機関において講義数55コマを実施し，リレー講座では4大学において講義数43コマを実施した。

(2) 支部講演会等

［北海道支部］

1) 第24回北海道支部講演会を企画し，2024年8月28日(水)に実施した（札幌市）。

2) 第25回北海道支部講演会を企画し，2024年9月6日(金)に実施した（札幌市）。

3) 第26回北海道支部講演会を企画し，2024年11月15日(金)に実施した（札幌市）。

4) 第27回北海道支部講演会を企画し，2025年2月28日(金)に実施した（札幌市）。

5) 日本化学会北海道支部2024年夏季研究発表会を2024年7月20日(土)に共催した（北見市）。

6) 触媒学会北海道支部2024年度札幌講演会を2024年12月23日(月)に共催した（札幌市）。

7) 化学系学協会北海道支部2025年冬季研究発表会を2025年1月21日(火)，22日(水)に共催した（札幌市）。

［東北支部］

2024年度東北支部講演会「炭素資源転換のための研究開発」を企画し，2024年6月21日(金)に実施した（福島市）。

［東海支部］

1) 第13回東海支部講演会を企画し，2024年9月9日(月)に実施した（名古屋市）。

2) 学生向け企業見学会・講演会を企画し，2025年1月24日(金)に実施した（四日市市）。

3) 東海地区の2製油所・事業所にて学部・大学院生を対象として行われたインターンシップ事業に協力した。

4) 第55回中部化学関係学協会支部連合秋季大会を2024年11月2日(土)，3日(日)に共催した（名古屋市）。

［関西支部］

1）第30回学生企業見学会を企画し，2024年9月25日(水)に実施した（堺市）。

2）第31回関西支部セミナーを企画し，2024年10月25日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した（大阪市）。

3）第33回関西支部研究発表会を企画し，2024年12月13日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した（京都市）。

4）コロキウム2024を2024年8月30日(金)に日本エネルギー学会関西支部，JPIJSと共催予定であったが中止となった。

［中国・四国支部］

1）2024年11月28日(木)，29日(金)に開催された広島大会（第54回石油・石油化学討論会）では，実行委員会を組織し，準備・運営に協力した。

2）第27回中国・四国支部技術交流会を企画し，2025年1月30日(木)に実施した（オンライン）。

3）中国・四国地区の2事業所にて学部・大学院生を対象として行われたインターンシップ事業に協力した。

［九州・沖縄支部］

1）第51回九州・沖縄支部講演会を企画し，2024年11月7日(木)，8日(金)に実施した（五島市）。

2）第52回九州・沖縄支部講演会を企画し，2025年1月15日(水)に実施した（北九州市）。

(3) JPIJS講演会

1）第66回年会において，第28回若手研究者のためのポスターセッションを開催し，優秀ポスター賞を7件選定し授与した。

2）広島大会（第54回石油・石油化学討論会）において，国際セッションを企画し，優秀賞を4件選定し授与した。

4）JPIJS講演会を企画し，2024年11月27日(水)に開催した（広島市，オンライン）。

5）プロセス分科会と合同でJPIJS討論会を企画し，2024年6月14日(金)に開催した（仙台市，オンライン）。

6）第13回次世代天然ガス利用を考える若手勉強会を企画し，2024年7月27日(土)に横浜市で開催した。

7）第14回次世代天然ガス利用を考える若手勉強会を企画し，2024年12月14日(土)に浜松市で開催した。

8）『ペトロテック』に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。

9）その他，全国においての活動は次のとおりである。

a）第34回若手ケミカルエンジニア討論会を2024年7月19日(金)，20日(土)に化学工学会九州支部と共催した（北九州市）。

b）第62回オーロラセミナーを2024年10月25日(金)に触媒学会と共催した（札幌市）。

c）第15回触媒科学研究発表会を2024年11月1日(金)に触媒学会西日本支部と共催した（神戸市）。

d）第33回関西支部研究発表会を2024年12月13日(金)に日本エネルギー学会関西支部，石油学会関西支部と共催した（京都市）。

e）コロキウム2024を2024年8月30日(金)に日本エネルギー学会関西支部，石油学会関西支部と共催予定であったが中止となった。

(4) 部会講演会

［資源部会］

1）資源講演会「持続可能なエネルギーの未来～石油・天然ガス上流部門の役割と取り組み～」を企画し，2025年3月14日(金)に実施した。

2）広島大会（第54回石油・石油化学討論会）において「資源開発」のセッションを企画し，協力した。

［精製部会］

1）32nd JPI Petroleum Refining Conference “Recent Changes and Future Challenges in Petroleum Industry”を企画し，2024年10月17日(木)，18日(金)に実施した。

2）第49回精製パネル討論会を企画し，2025年2月21日(金)に実施した。

［石油化学部会］

広島大会（第54回石油・石油化学討論会）において「石油精製・石油化学における水銀・硫化水素・リチウム等の微量化合物の除去」「ポリマー・オリゴマー」「バイオマス利用技術の新展開」「水素・エネルギーキャリア・CCU」のセッションを企画し，協力した。

［製品部会］

1）2024石油製品討論会を企画し，2024年12月16日(月)に実施した。

2）絶縁油分科会では，第44回絶縁油分科会研究発表会を企画し，2024年6月7日(金)に実施した。

［装置部会］

1）装置部会では，広島大会（第54回石油・石油化学討論会）において「装置・設備保全」のセッションを企画し，協力した。

2）回転機分科会では，第23回 回転機研究討論会を2024年10月3日(木)に企画し，実施した。

3）配管分科会では，第19回配管技術セミナーを2024年11月15日(金)に企画し，実施した。

4）設備保全分科会では，第54回装置研究討論会を2024年12月4日(水)，5日(木)に企画し，実施した。

5）圧力設備自主保安分科会では，第1回圧力設備自主保安分科会講習会を2025年2月20日(木)に企画し，実施した。

6）計装分科会では，第39回計装研究討論会を2025年2月27日(木)に企画し，実施した。

7）電気分科会では，第23回電気研究討論会を2025年3月6日(木)に企画し，実施した。

［経営情報部会］

広島大会（第54回石油・石油化学討論会）において「デジタル技術応用」のセッションを企画し，協力した。

［新エネルギー部会］

1）新エネルギー部会講演会「カーボンニュートラルに向けたGXの推進動向」を企画し，2025年2月28日(金)に実施した。

2）広島大会（第54回石油・石油化学討論会）において「バイオマス利用技術の新展開」及び「水素・エネルギーキャリア・CCU」のセッションを企画し，協力した。

1-2-2 規格の制定・普及

［製品部会］

試験分析分科会では次の規格の見直しを実施した。

＊ 5S-62-11［石油製品－金属分試験方法］

＊ 5S-64-02［石油製品－塩素分試験方法－微量電量滴定法］

絶縁油分科会では次の規格の見直しを実施した。

＊ 5S-58-99［フルフラールの定量試験方法］

＊ 5R-51-98［油入電気機器からのガス及び絶縁油の採取と遊離及び溶存ガス分析方法］

［装置部会］

(1) 装置委員会

1）機器分科会

次の規格の見直しを実施した。

＊ 7S-8-18［塔類プラットホーム及びラダー］

＊ 7R-35-13［スカートを有する塔そう類の強度計算］
＊ 7S-42-10［塔，そう，熱交換器検査基準］
＊ 7R-72-06［竪形容器用ラグサポート］
＊ 7B-88-15［機器フランジ漏れ防止対策資料準］

次の規格の改訂を実施した。

＊ 7S-80-24［竪形容器用リフティングラグ］2025年3月28日改訂

次の規格を廃止した。

＊ 7B-89-02［塔槽・熱交換器の海外調達時における要求事項］

2）配管分科会

次の規格の見直しを実施した。

＊ 7S-14-97［石油工業配管用アーク溶接鋼管］
＊ 7S-15-11［石油工業用フランジ］
＊ 7S-23-18［石油工業用リングジョイントガスケット及び溝］
＊ 7S-24-00［バルブの表示方式］
＊ 7S-39-19［バルブの検査基準］
＊ 7S-41-18［配管用うず巻形ガスケット］
＊ 7S-67-18［石油工業用バルブの基盤規格］
＊ 7R-68-95［バルブの操作方式］
＊ 7S-75-19［配管用PTFE被覆ガスケット及びPTFEソリッドガスケット］
＊ 7S-77-18［石油工業用プラントの配管基準］
＊ 7S-79-18［配管用膨張黒鉛シートガスケット］
＊ 7S-84-96［石油工業用鋼製ボス、ブランチアウトレット及びプラグ］

次の規格の改訂を実施した。

＊ 7S-90-24［管の曲げ加工法］2025年3月28日改訂

(2) 設備維持規格委員会

1）次の規格の改訂及び追補の公開を実施した。

＊ 8S-3-24［回転機維持規格］2024年11月5日改訂
＊ 8R-11-24［防食管理］2024年11月15日改訂
＊ 8R-12-24［劣化損傷の評価と対応］2024年11月15日改訂
＊ 8S-1-23［配管維持規格］追補
＊ 8S-2-21［設備維持規格］追補
＊ 8S-6-20［屋外貯蔵タンク維持規格］追補
＊ 8R-15-23［フランジ・ボルト締付管理］追補
＊ 8R-16-20［溶接補修］追補

2）設備維持規格の内容に関する講習会及び管理士資格保有者を対象とした更新講習会を2025年1～2月に開催した。

1-2-3 設備維持管理士資格付与

(1) 資格付与

1）設備維持管理士認証委員会において，設備維持規格の内容に関する認証のための評価試験を2025年2月2日(日)に東京及び大阪で実施した。その結果，所定の基準に達した164名（配管・設備72名，回転機33名，電気設備15名，計装設備44名）に設備維持管理士資格を付与した。

2）資格証明証の有効期限が2025年3月31日及び2026年3月31日の管理士資格保有者のうち所定の講習を受講したものに対し，設備維持管理士認証委員会において更新の承認を行った。その結果，271名（配管・設備154名，回転機64名，電気設備23名，計装設備30名）が資格を更新した。

(2) 顕彰

設備維持管理士制度の認知を広げ，制度のさらなる普及を目的に，広島大会で，4事業所に対し設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行った。

1-2-4 会誌（一般誌）

会誌（『ペトロテック』月刊）を発行し，会員に配布したほか，一部外部に頒布した。

1）各月の主な内容は次表のとおりである。

巻 数	第47巻									第48巻			合計
号 数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
時評	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
座談会	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	8
一般総説・資料	8	18	8	7	11	8	10	12	8	7	6	6	109
在外研究MAP	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
先輩から後輩へのメッセージ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
私事白書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
My研究室ライフ	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	5
讃嘆石油史！	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ふるさと自慢	0	2	0	1	0	2	0	2	0	2	0	2	11
最近始めたこと	2	1	0	2	2	2	2	2	1	2	1	2	19
私の宝物自慢	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	5
JPIJSだより	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	10
エネルギー知ってるはず	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
おすすめの一冊	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	2	6
委員会・部会報告	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	6
目次裏統計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全頁数	66	108	68	66	70	68	68	62	53	56	64	56	805

（2023年度 823頁）

2）特集記事を以下のとおり掲載した。

＊2024年5月号「ようこそ石油・石油化学業界へ～みんなのDX～」

＊2024年6月号「IPCC第6次評価報告書」

＊2024年9月号「2023年度受賞講演（1）」

＊2024年10月号「2023年度受賞講演（2）」

＊2024年11月号「JPIJS若手研究者のためのポスターセッション優秀賞の紹介」

＊2024年12月号「フュージョン（核融合）エネルギーの開発」（小特集）

3）その他，論文誌掲載論文目次，学会活動を報告する「学会の窓」などを掲載した。

(2) ペトロテック検索データベースを，毎月の雑誌到着と同時期に更新した（収録するpdfデータはカラー）。

1-2-5 広報

(1) 講演会，研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。

(2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに，学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。

(3) 会員を始めとするWeb閲覧者向けに実施している『ペトロテック』の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスとして，第48巻第3号までの記事を公開した。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会，石油・石油化学討論会，論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究，技術開発の一層の推進を図るため，研究者や技術

者の成果発表や情報交換の場として，研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

(1) 第72回研究発表会を2024年5月29日(水)に開催した（東京都江戸川区）。

(2) 広島大会～安芸に来んさい―サステナブル社会と共存する石油技術―～（第54回石油・石油化学討論会）を2024年11月28日(木)，29日(金)に開催した（広島市）。

(3) 論文誌『Journal of the Japan Petroleum Institute』（隔月刊）を発行し，冊子は公共会員（15部）及び外部に各号15部を頒布した。2024年度の掲載内容は次表のとおりで，第67巻第5号に大阪大会特集論文を掲載した。

2025年1月号掲載記事よりオープンアクセスとし，J-Stageに第68巻第2号までを公開した。

2024年の論文ダウンロード件数は約158,600件（うち海外は約98,800件）であった。

巻 数	第67巻				第68巻		合 計
号 数	3	4	5	6	1	2	6
総合論文	2	1	1	1	2	1	8
一般論文	1	3	6	3	2	2	17
ノ ー ト							0
技術報告				1		1	2
レ タ ー							0
件数合計	3	4	7	5	4	4	27
全頁数	22	35	61	35	35	31	219

(2023年度 272頁)

2-2 研究助成

2025年度の助成金交付対象者を以下の4名に決定した。

(1) 「次世代の数値シミュレーターの開発―カーボンニュートラリティ達成に向けた炭素地質貯蔵の精密予測を強化する機械学習の活用―」
(助成額 50万円) 早稲田大学 理工学術院総合研究所 研究院講師 Vo Thanh Hung 氏

(2) 「圧力制御と合金設計の協奏に基づく高効率メタンカップリング触媒システムの開発」
(助成額 50 万円) 大阪大学 大学院工学研究科応用化学専攻 助教 中谷 勇希 氏

(3) 「アレーンの C-H 結合ヒドロキシ化によるフェノール類の効率的合成」
(助成額 50 万円) 横浜国立大学 工学研究院機能の創成部門 助教 長谷川 慎吾 氏

(4) 「光加熱型タンデム触媒反応によるメタンと二酸化炭素からの炭化水素製造」
(助成額 50 万円) 近畿大学 理工学部応用化学科 講師 山本 旭 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程により，学会賞2件，論文賞2件，奨励賞3件の授賞を決定した。

【収益事業等】

1. 受託事業

(1) 製品部会ガソリン分科会において，石油連盟から「ガソリン車の燃料性状感度に関する調査」について受託し，調査を実施した。

(2) 製品部会燃料油分科会において，石油連盟から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し，調査を実施した。

2. 図書及び標準試料認証・販売事業

2-1 図書販売事業

石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について，出版

社より販売部数に応じて販売手数料を得た。
「新版 石油精製プロセス」「新版 石油化学プロセス」

2-2 標準試料認証・販売事業

2024年度の認証数（販売数）は次のとおりである。硫黄分（1,351），窒素分（169），ニッケル・バナジウム分（42），FIA用（3），軽油硫黄分（404），標準ガソリン（88），引火点（1,574），分離確認用標準（17），希釈用ガソリン（13）。総計は3,661であった。

3. 溶接士認証事業

（1）2008年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。2024年度の認証者数は657名で，現在までの累計認証者数は145,879名である。
（2）近畿地区溶接功労賞受賞者2名の表彰を行った。

4. 会員交流事業

（1）製品部会潤滑油分科会では，JPI-5S-25-08［ガソリンエンジンワニス評価法］を関連の業界技術者に普及するため，第49回レイティングシンポジウムを2024年11月21日(木)，22日(金)に開催した。
（2）製品部会試験分析分科会では，測定者の測定レベルの維持向上のため，第1回試験分析分科会後継者育成講習会～ガスクロマトグラフ編～を2025年1月22日(水)に開催した。
（3）装置部会回転機分科会では，以下の活動を行った。
1）メカニカルシール技術講座を2024年7月17日(水)～19日(金)，11月6日(水)～8日(金)，2025年2月26日(水)～2月28日(金)に開催した。
2）ポンプ技術講座を2024年6月27日(木)，28日(金)に開催した。
3）往復動圧縮機教育講座を2025年2月6日(木)，7日(金)に開催した。
（4）装置部会計装分科会では，若手育成を目的に計装事例交換会を2024年9月20日(金)に開催した。
（5）装置部会電気分科会では，以下の活動を行った。
1）「変圧器突入電流抑制装置の紹介」について勉強会を2024年7月11日(木)に開催した。
2）若手育成・交流を目的とした若手発表会を2024年9月5日(木)に開催した。
（6）装置部会圧力設備自主保安分科会では，現場保全技術者の教育を目的に第1回圧力設備保安セミナーを2025年2月21日(金)に開催した。
（7）講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。
（8）年会，秋季大会において会員企業のPR展示を企画し，実施した。
（9）維持会員向けに事業内容等を説明する維持会員交流会を2025年3月27日(木)に開催した。

5. 会員向けサービス

毎月1回，普通会員及び維持会員あてに本会のトピックス，行事案内，募集などを記載したメールマガジンを発信した。

【法人管理】

1. 法人運営

（1）法人管理・運営にあたり，以下の会議を開催した。
理事会（5回），運営会議（5回），顧問会（1回），役員等候補者選定委員会（2回），財務委員会（3回），職員人事委員会（2回），事業活性化委員会（2回）
（2）下記規程類の改定を行った。
＊職員就業規程
＊職員給与規程

＊役員等候補者選定規則

(3) 会員増強活動として，次の取り組みを行った。

1) 普通会員初年度会費半額キャンペーンを実施した。

2) 主に企業の新入社員，若手社員を対象に，『ペトロテック』第47巻第5号に特集記事「ようこそ石油・石油化学業界へ～みんなのDX～」を掲載し，入会勧誘活動を実施した。

(4) 他学協会，その他の団体から事業の共催，協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

2024年度末（2025年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

項目 会員別	2024年 3月31日現在	2024年度会員数の増減			2025年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	41	2	1	1	42
普通会員	2,186	40	176	△136	2,050
学生会員	162	45	66	△21	141
小　　計	2,389	87	243	△156	2,233
維持会員					
特級	2	0	0	0	2
1級	11	0	0	0	11
2級	9	0	0	0	9
3級	26	0	1	△1	25
4級	25	0	0	0	25
5級	182	2	0	2	184
小　　計	255	2	1	1	256
公共会員	16	0	1	△1	15
総 合 計	2,660	89	277	△156	2,504

【委員会・部会の会合数】

2024年度の会合数は次表のとおりである（傘下の委員会を含む）。

会　合　名	数	会　合　名	数
通常総会	1	部会部門連絡会	1
理事会	5	資源部会	4
顧問会	1	精製部会	3
運営会議	5	プロセス分科会	11
財務委員会	3	石油化学部会	2
職員人事委員会	2	製品部会	4
役員等候補者選定委員会	2	ガソリン分科会	23
受託事業委員会	0	燃料油分科会	17
事業活性化委員会	2	潤滑油分科会	12
新しい石油学会のあり方検討WG	3	アスファルト分科会	3
支部長会議	1	絶縁油分科会	35
広報・会員拡大委員会	0	試験分析分科会	5
ペトロテック編集委員会	11	装置部会幹事会	3
Working Group 委員会	67	設備維持規格委員会	36
論文誌編集委員会	7	装置部会委員会	11
研究・技術企画委員会（含むWG）	4	機器分科会	3
表彰委員会	2	回転機分科会	25
表彰推薦委員会	1	配管分科会	31
表彰選考委員会	5	計装分科会	35
研究助成委員会	1	電気分科会	28
教育委員会（含むWG）	3	設備保全分科会	14
国際研究協力に関する受託事業実行委員会	2	保安分科会	7
認証部門連絡会	0	圧力設備自主保安分科会	7
設備維持管理士認証委員会	39	経営情報部会（含むWG）	20
溶接士検定委員会	2	新エネルギー部会	8
標準試料委員会	6	次世代バイオ燃料油分科会	3
		合　　計	526

【講演会，討論会，研究発表会等の実施】

月	日	曜	名　　称	開催地	講演数	参加者数
2024年						
5	28 29	火 水	第65回通常総会，第66回年会―特別講演，依頼講演，受賞講演 第72回研究発表会，第28回JPIJSポスターセッション	東京	45 P65	276
6	7	金	第44回絶縁油分科会研究発表会	京都 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	10	192
10	3	木	第23回 回転機研究討論会	東京	5 WS6	235
10	17 18	木 金	32nd JPI Petroleum Refining Conference “Recent Changes and Future Challenges in Petroleum Industry”	東京 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	12	128
11	15	金	第19回配管技術セミナー	東京 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	5 PD3	72
11	28 29	木 金	広島大会～安芸に来んさいー サステナブル社会と共存する石油技術- ～ －特別講演，招待講演，市民講座，懇親会 －第54回石油・石油化学討論会	広島	14 215 P39	682
12	4 5	水 木	第54回装置研究討論会	東京 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	8 PD2	138
12	16	月	2024 石油製品討論会	東京 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	9	107
2025年						
1	10	金	設備維持規格講習会，一般講習会（配管・設備）	オンライン	－	123
1	15	水	設備維持規格講習会，一般及び更新講習会（電気設備）	東京	－	31
1	16	木	設備維持規格講習会，一般及び更新講習会（計装設備）	東京	－	58
1	17	金	設備維持規格講習会，一般及び更新講習会（回転機）	東京	－	99
2	2	日	2024年度設備維持管理士認証のための評価試験 （配管・設備，回転機，電気設備，計装設備）	東京 大阪	－	491
2	10 11	月 火	第33回日本－サウジアラビア合同シンポジウム（研究・技術）	ダーラン	20 P30	170
2	14	金	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	東京	－	94
2	17	月	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	京都	－	60
2	20	木	第1回圧力設備自主保安分科会講習会	東京	7	74
2	21	金	第49回精製パネル討論会	京都 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	3	147
2	27	木	第39回計装研究討論会	東京 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	4 PD1	131
2	28	金	新エネルギー部会講演会「カーボンニュートラルに向けたGXの推進動向」	オンライン	7	44
3	6	木	第23回電気研究討論会	東京 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	7	91
3	14	金	資源講演会「持続可能なエネルギーの未来～石油・天然ガス上流部門の役割と取り組み～」	東京 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ	7	53

P：ポスター，WS：ワークショップ，PD：パネルディスカッション

以上